

「愛・そして絆」

秦野パサデナ友好協会理事
飯塚 雄三

真夏の夜空に若者の歓声と白球が飛ぶ。

8月29日(木)午後5時、秦野球場に高校生とその友人たちが続々と集合。平成20年3月に「秦野市少年野球連盟」より選抜され、パサデナ市でベースボールの交流に参加したメンバーたちだ。今日は「甲子園予選の神奈川大会」を終えた高校3年生が久しぶりに当時のチームメイトと触れ合うとともに、今後の自分たちの進路を話し合い、次の再会までの思い出作りだ。

この日は、当時のメンバー17名中、13名が集まった。また、市内在住の少年野球OBの諸君が相手をしてくれた。約1時間30分ほどのゲームだったが、参加者全員が楽しんでた。また、父母たちも久しぶりに歓声を上げ応援を楽しんだ。

その後場所を移し、カラオケボックスでの懇親会が開かれた。参加者はチームメイト11名、指導者・役員・市担当者8名、父母10名。遅い夕食を楽しみながら、それぞれの近況や進路などについて報告した。特に「これまで好きな野球を続けさせてもらったことに対し、親・関係者に「感謝」をするとともに、これからは「恩返し」をしたい。」と、心身共に成長した姿を見せてくれた。

今回の再会に向けて、幹事たちが「記念に残るもの」としてお揃いの赤いTシャツを関係者全員の名入りで作製し配布された。

すっかり大人になった元・少年(少女)たちの成長ぶりに、感慨もひとしお



全員の名前が入った一生モノのTシャツ



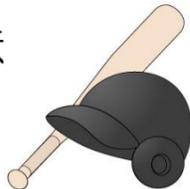
秦パ交流記

シリーズ
No.8



5年後のリユニオン

〜再会で強まる絆〜



2008年3月に少年野球交流のため、パサデナを訪問した子どもたちももう高校3年生。夏休みも残り少ない8月29日、交流試合と食事会が行われました。秦野球場で行われた交流試合の後、食事会では、パサデナ訪問時のDVDを上映し、監督、コーチ、保護者の方も交え、思い出話に花を咲かせ、最後は子ども達一人ひとりのスピーチ。夢と希望に満ちたすばらしいものでした。

これまでも時々、集まっていた子どもたちですが、「くじけそうになったとき、一緒にパサデナに行った仲間たちが支えてくれた」と。違うチームから集まった17人の子どもたちの絆はこれからもずっと続いていくことでしょう。そして、今回の記念に作られたTシャツと成長した子どもたちの写真はお世話になったエド会長夫妻に送られる予定です。

(秦野パサデナ友好協会会員 猪野 紀子)

第10号

発行 秦野パサデナ友好協会
事務局 〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号
(秦野市くらし安心部市民自治振興課内)
TEL 0463(82)5118 FAX 0463(82)6793
E-mail siminjiti@city.hadano.kanagawa.jp
発行日 2014年1月6日



秦野市・パサデナ市姉妹都市提携50周年

記念式典の開催&パサデナ市訪問団の5年ぶり来秦が決定!

- ◆パサデナ市訪問団来秦日程(予定)
平成26(2014)年4月16日(水)~21日(月)
- ◆姉妹都市提携50周年記念式典(予定)
平成26(2014)年4月20日(日)午後2時



いよいよ、今年は、パサデナ市との姉妹都市提携50周年という記念の年を迎えます。50年の歴史を祝い両市の交流を伝え広めるため、現在、様々な事業が計画されていますが、今年4月には、50周年記念事業の中心となる「姉妹都市提携50周年記念式典」が秦野市文化会館を会場に開催される予定です。

そして、この記念式典に合わせて、パサデナ市訪問団が5年ぶりに来秦することが決定しました。ジョニー・イズベル市長や、エド・ゴード会長夫妻を始めとしたパサデナ姉妹都市協会のメンバーが来秦し、記念式典への出席のほか、様々な事業を通じて市民との交流を行う予定です。

さらに今年は、人的交流以外にも、市民に広くパサデナ市をPRし、市全体で50周年を盛り上げるような事業が企画されています。その第1弾は、「姉妹都市提携50周年記念 伝えよう、秦野の魅力!写真コンテスト」です。パサデナの人々に見てもらいたい、秦野の魅力あふれる写真を募集し、訪問団が来秦する4月に写真展を開催します。

この写真コンテストを皮切りに、平成27(2015)年3月末までの1年強の間、メモリアル・イヤーにふさわしい企画が目白押しとなっていますので、ぜひご期待ください。なお、パサデナ市訪問団の来秦時の細かいスケジュールやその他の各種事業については、詳細が決まり次第、会員の皆さんにいち早くお知らせします。

半世紀にわたる交流を次の50年へと繋いでいくために、役員・事務局一丸となって取り組んでまいります。

いざ、50周年。そして、次の50年に向けて新たなスタートを!

Howdy!

~秦野とパサデナの親善交流を応援しています~

株式会社 藤野製作所
代表取締役会長 藤野 誠
秦野市曾屋338番地

編集後記

今年度の友好協会の活動を皆様にお届けすることができます事を、とても嬉しく思います。

パサデナ市訪問団の来秦日程がほぼ決まりました。何か1つが決まってくると、その周辺のいくつかが決まってきます。そうするとまたそれぞれの周辺がというように、私たちの目の前に具体的な物が見えてきます。力を合わせて、新たな50年に向かってのスタートを切りましょう。

アトリエこみやま

月の輪倶楽部

主宰: 込山 也寸子

芸術に国境なし!!
国際交流を応援します!

秦野市寿町10-2

TEL: 0463-82-8858



人生の幸せはお口の健康から

診療時間 9:00AM~12:00PM 休診日 日曜
2:00PM~7:00PM 祝祭日

前島歯科医院 一般歯科・小児

秦野市栄町5-21

TEL 0463-83-8877
FAX

【5月15日～21日】

19年ぶり!

秦野市長がパサデナ市訪問

心温まる歓迎に感動 これからの交流へ思い新たに

昨年5月、古谷市長、望月教育委員長を含む6名で、パサデナ市を訪問しました。秦野市長によるパサデナ市への訪問は、実に19年ぶりのことで、姉妹校3校の訪問や再選を果たしたジョニー・イズベル市長への表敬訪問、カーク・ルイス教育長との会談など、今後の交流に向けて有意義な訪問ができました。今回は、訪問に同行した2名の先生からその感想を伺いました。

小学校と市長・教育長訪問

秦野市教育研究所 名古屋 まゆみ

本町小の姉妹校であるテグ小と、西小の姉妹校であるスパークス小では、日本の1年生から4年生にあたる子どもたちと、併設の幼稚園の子どもたちが、明るい笑顔で迎えてくれました。学年はオープンスペースになっていて、20名程度の児童がそれぞれのクラスのエリアで電子黒板を利用した授業を受けていました。図書室もオープンスペースで、様々な趣向を凝らした装飾が施されており、学校キャラクターのぬいぐるみやスローガン、秦野市から贈られた土産物や子どもたちの作品がたくさん飾られていました。どちらの小学校にもバイリンガルクラス（スペイン語）があり、南米からの移民の子どもたちへの対応がなされています。カフェテリアにはステージがついており、音楽や劇の発表を行ったり、パーティーを行ったりすることによって、訪問した日には素敵な歌で歓迎してくれました。

また、多くの関係者に迎えられ、市長表敬訪問を行いました。テレビクルーの撮影により、その様子がメディアに取り上げられ、来年度開催を予定している姉妹都市提携50周年記念式典へパサデナ市長を招待したい旨が古谷市長から伝えられ、その様子はとても感動的でした。ロビーには大きな歓迎のケーキが2つ用意され、その2つをかけ橋が結んでおり、現地の企業社員や首席領事らも同席した華やかな会となりました。

さらに、パサデナ独立学区教育長表敬訪問では、テキサスや秦野の教育事情について、様々な話が和やかな雰囲気の中で行われ、これからの姉妹校交流についても話し合われました。

訪問中、パサデナ姉妹都市協会関係の皆様からは、家族のようなおもてなしをいただき、ここがアメリカでの私の故郷だと思えるような日々でした。これからの姉妹都市交流をますます盛り上げ、来年度の50周年記念を迎えたいと思います。

トンプソン中学校を訪問して

秦野市立渋沢中学校教諭 石井陽子

“Hello!”「コンニチハ！」元気いっぱいの笑顔で迎えてくれたトンプソンの生徒たち。渋沢中学校の姉妹校である、Thompson Intermediate school は日本の中学校1年、2年生に相当する生徒が通っています。

広報部の生徒たちが、校内を案内してくれました。生徒達からは、「自分たちの学校をよく見てほしい、トンプソンの生徒を、仲間をよく見ていって！」という気持ちがとても伝わりました。生物、スペイン語、美術、合唱、オーケストラのクラスを見学しました。美術クラスでは、生徒が自分の作品を誇らしげに説明し、渋沢中学校へぜひ持って行ってほしいと、作品をプレゼントしてくれました。自分に自信を持って、自分を表現できるってステキだなと思いました。

また、渋沢中とトンプソンの生徒達が同じ中学生として友達になれたら、本当の意味での国際理解に繋がるのではないかと思います。姉妹校としての関係をより良いものに築き上げていきたいと感じました。



校内を案内してくれたスパークス小の児童たち



トンプソン中広報部の生徒たちは、立派な広報パーソン



両市長の前には、友好のかけ橋が結ぶ2つのケーキ

9/23

中学生英語スピーチコンテスト

気分は、IOC総会のプレゼンテーション

今年度で3回目となる「中学生英語スピーチコンテスト」が開催され、12名の出場者が思い思いのテーマでスピーチを披露しました。

皆一様にジェスチャーを交え、感情を込めて語りかけるその姿は、昨年度までとは明らかに違います。まるで、直前にアルゼンチンで行われたIOC総会でのプレゼンテーションを見ているようでした。



「日本人はプレゼンが苦手」というのは過去の話になったと、とても頼もしく思いました。

優勝した瀬下さん(鶴巻中2年)

11/3

第34回「秦野市市民の日」出店

少数精鋭で売上金10万円超!!

今年度も、11月3日の市民の日に友好協会のテントを出店しました。お菓子のつかみ取りコーナーでは子どもたちの大行列ができ、「いっぱい取れたね」「あ～残念」など、歓声が途切れませんでした。バザーも開店と同時に絶好調。飲み物も午後になり抽選会が近づくにつれ、飛ぶように売れました。

そして、**結果は売上104,750円、純利益が73,749円!**今年度は少数精鋭で、過去最高の売上・利益を達成しました!

バザー品の提供等ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

11/27

会員親睦食事会@Bio 食堂

パサデナへ寄せる思い! 熱く語る

有機野菜を存分に使ったお料理を囲んでの親睦会。体に優しい食事としぼしの歓談を楽しんだ後、皆さまからパサデナに寄せる思いや自己紹介を兼ねたショートスピーチをしていただきました。それがまた、全てが実に熱く、忘れられない印象的なものばかりでした。参加会員の豊かなタレントは、今後の活動にきっと活かされること間違いなしであることを実感しました。

終盤に、テキサス州の大都市名を学びながら、くじ引きで当たったシクラメンやポインセチア鉢に会場は瞬く間にXmas flower一色になり、とても温かい交流になりました。

ハートを届ける～姉妹校・作品交流～

今年度も、本町小、西小、渋沢中の生徒の作品を、姉妹校であるテグ小、スパークス小、トンプソン中へ送りました。各学校から届いた絵画や習字、書写等20～30点の作品に、役員有志で作者名や作品の解説などの英訳作業を行いました。どの作品も素晴らしく、今回は渋沢中からは、生徒たちによる心のこもったクリスマスカードも同封されました。

こうした作品の送付を続けていくうちに、少しずつパサデナからもお返しの作品が届くようになりました。各学校では、パサデナ・コーナーが設けられ、生徒がいつでも見られるよう届いた作品が展示されています。こうした心の交流が、いつか実際の行き来へと繋がってけると良いと思います。